

1. 南箱道路(愛称：はこね金太郎ライン)開通に伴う足柄上地区の地域活性化策及び諸課題は

ゴールデンウィーク前の4月28日、隣市南足柄市矢倉沢と箱根町仙石原を結ぶ南箱道路10.9kmが開通しました。

これにより、東名高速道路大井松田ICから箱根町仙石原までの所要時間も随分短縮され、利便性が大いに高まりました。

また、観光客の周遊ルートや生活道路としても、さらに災害時の代替ルートもでき、圏域の安全もさらに確保されました。

当町を含む足柄上地区としても、これを契機として、新たな観光ルートの誕生に伴う広域連携による観光振興をはじめとする地域活性化策を講じる必要があります。

一方、連休期間中の町内交通状況では、当該路線の事前周知や道の駅“足柄・金太郎のふるさと”への来場などの影響からか、圏域外からの車両も相当数通行し、渋滞も見受けられました。

南箱道路開通の対費用効果は大きなものがあると思われませんが、開通後の善後策について以下の通り質問します。

①国際観光都市箱根町との連携を意識した足柄上地区の観光振興策にかかる事前調整の状況と今後予定する具体的な取り組みは。

②本町における観光振興に結び付く具体的な取り組みは。

③交通量の増大に伴う渋滞緩和策はどのように考えるか。